

発議第 9 号

少人数学級の実現を求める意見書

地方自治法第99条及び松伏町議会会議規則第14条の規定により、別紙のとおり提出する。

令和 2 年 9 月 2 4 日提出

提出者 松伏町議会議員 平 野 千 穂

賛成者 松伏町議会議員 吉 田 俊 一

賛成者 松伏町議会議員 福 井 和 義

賛成者 松伏町議会議員 鈴 木 勉

松伏町議会議長 増 田 等 様

## 少人数学級の実現を求める意見書

子どもたち一人ひとりが大切にされ、豊かな人間関係の中で教育が行われることは保護者、教職員共通の願いです。また、新型コロナ感染から、子どもと教職員の健康と命をいかに守っていくかは重要な課題となっています。クラスの人数を半分にした6月の分散登校中は、密にならなかつただけでなく、「一人ひとりの声がよく聞こえて静かに学習が進められた。ノートを丁寧に見てあげられた」「子どもたちの本音を聞いて心のケアに努めながら、学習を進めていける」などの経験を教師も子どもたちも実感しました。

全国知事会、全国市長会、全国町村会の地方3団体は7月3日、萩生田光一文部科学大臣に少人数学級を求める緊急提言を提出し、教員の確保やICT教育人材の配置、財政措置の拡充などを強く要望しています。政府の「骨太方針2020」も、「少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備」について「関係者間で丁寧に検討すること」を求めています。

(7月17日閣議決定)

よって来年度予算編成に向けて政府におかれましては、子どもたちを感染から守り、豊かな学びと学校生活を送れるよう、30人以下の少人数学級編成に向けた、教職員定数の計画的な改善を行い、少人数学級実現を強く求めるものです。

以上、地方自治法99条により意見書を提出します。

令和 2 年 9 月 2 4 日

埼玉県北葛飾郡松伏町議会

衆議院議長 大島理森様  
参議院議長 山東昭子様  
内閣総理大臣 菅義偉様  
財務大臣 麻生太郎様  
文部科学大臣 萩生田光一様